

令和2年度 浦和麗明高等学校 学校自己評価シート

学校目標	建学の精神である「みんなから愛され、信頼される人」「社会に役立つ人」「勤労を尊び前進する人」を育てることを探求する。		
本年度の目標	(1) 教育理念及び教育方針の徹底 (4) 安心・安全な教育環境の整備	(2) 基本的マナーの習得と生徒指導の徹底 (5) 「六つの生徒指導心得」の徹底	(3) 進学実績と進学率の向上 (6) コミュニケーション力の向上

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

評価項目	現状	具体的な方策	評価指標	経過・達成状況等	達成度	次年度の課題と改善策	学校関係者評価	
							実施日 令和3年6月11日	評価
1 教務 教員授業力強化の取組み 教育環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒(コース)により予習、復習に対する姿勢に差が見られるが、その差がなくなってきた。</li> <li>昨年よりさらに入塾意欲を上げたため、学習能力及び意欲の高、生徒が増えている。</li> <li>不審者対応として監視カメラが充実し、今後さらに活かされるはずである。</li> <li>災害対策においては、さらなる意識の共有化、備蓄品の充実が求められる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎学力の底上げ</li> <li>生徒の関心をひくような授業の組み立て</li> <li>予習復習の意義の徹底</li> <li>教科指導部との連携により、スタディサプリ、DM英会話等を有意義に活用する</li> <li>長期休暇中の課題履修およびその確認を行う</li> <li>日々の施設、備品安全管理点検</li> <li>避難訓練の実施</li> <li>災害時の非常食確保</li> <li>救急救命講習の実施</li> <li>節電の奨励</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎学力の定着</li> <li>教科への興味、意欲の向上</li> <li>学習習慣の定着</li> <li>授業満足度の向上</li> <li>授業力の向上</li> <li>試験前の学習習慣の定着</li> <li>防災対策(備蓄品を含む)の確保</li> <li>環境衛生面の安全の確保</li> <li>美観等の確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スタディサプリの実施が定着し、学力向上が期待できる</li> <li>朝夕ともに自習室で学習する生徒が増加している</li> <li>定期試験前、学校に残り教員に質問する生徒が増え、学習への意欲の向上が感じられる。</li> <li>火災報知機、非常放送、消火設備、汚水水槽の定期点検の実施</li> <li>校舎施設、備品の安全点検の実施</li> <li>空気、照明、照度、飲料水の定期点検の実施</li> <li>災害対策備蓄品の確保</li> <li>通報訓練および防災意識の徹底 救急救命講習の実施</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>次年度の課題と改善策</li> <li>校舎設備に関しては、新校舎および内装を新装したものを継承するうえで使用上の留意点を教師、生徒に伝えてゆく必要がある。特に次年度も多くの新採用があるため、授業指導力の向上はもちろんだが、学効施設の使用という視点でも共通理解を持ち、それを生徒に伝えることが必要と考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校関係者評価</li> <li>実施日 令和3年6月11日</li> <li>学校関係者からの意見・要望等</li> <li>評価</li> </ul>	
2 進路指導 進路指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>共学一学期生が卒業を迎えるので、学校案内報に掲載されている大学合格目標を達成する。</li> <li>大学現役進学率の向上、上位大学の合格数増加を引き続き目指す。</li> <li>大学入試改革初年度のため、総合型・学対価型型・一般入試の対策に関して、今まで以上に早期対策が求められる。</li> <li>学対価型として、入学後のことも考慮し、一般入試での受験を推進する。</li> <li>コロナ禍において、オープンキャンパスを中止する大学が増えている。</li> <li>社会の変化が激しいので、将来の目標が定まりにくい生徒がいる。</li> <li>保護者の進路への意識がより高まってきている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>進学コースへの転換について、職員会議等で教員意識の向上を図る。</li> <li>模擬試験実施後に生徒向けの報告会の実施</li> <li>教科指導部との連携を推進し、進学に対する意欲を高める</li> <li>総合型・学対価型型の併修可能な大学入試を利用した受験メニューの周知徹底を図る。</li> <li>英検利用や少人数科目での一般入試に関して周知徹底を図る。</li> <li>土曜日に実施している高大連携プログラムに関して、生徒が興味を持つよう、参加する企業を多くしていく。</li> <li>オンラインでのオープンキャンパス等を、校内の掲示板等を利用して積極的に案内していく。</li> <li>土曜日の社会科見学や昼休みの映像放送を利用して、将来の社会に関して知る機会を多くする。</li> <li>保護者への対応(面談、説明会等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学の合格目標 国公立・早慶上理 30名 GMARCH レベル 60名 成成麗国レベル 60名 日東駒専レベル 70名 大東亜帝国レベル 70名</li> <li>専門学校・就職希望者の合格 1年生・2年生に関しては、模範の上位者を昨年比で増加するようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学の合格状況 国公立・早慶上理 26名 GMARCH レベル 45名 成成麗国レベル 77名 日東駒専レベル 135名 大東亜帝国レベル 130名</li> <li>国立早慶上理・GMARCHレベルの合格者は、目標に到達しなかったが、その他のレベルの合格者に関しては、目標を大きく上回ることができた。</li> <li>学対価型型に関しては、東京医科歯科大学・上智大学等の最難関大学に合格が出たのは大変良かった。</li> <li>専門学校・就職希望者もほぼ全員合格した。</li> <li>新三年生に関しては、共学一学期生の模範成績を全体的に上回ることはできなかった。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般受験、総合型、推薦、また専門学校、それぞれに向けて生徒に対する教員の手厚い対応、指導そして内容の更なる充実を希望します。</li> <li>共学一学期生の浪人生に関しては、登校して勉強する環境を整えたり、予備校に通う生徒も定例的に支援していきたい。</li> <li>コロナ高で実施できなかった取り組みに関して、社会情勢を見ながら、可能な限り実施していきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般受験、総合型、推薦、また専門学校、それぞれに向けて生徒に対する教員の手厚い対応、指導そして内容の更なる充実を希望します。</li> </ul>	
3 生徒指導 生徒指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>規範意識や交通安全に対する意識が希薄な生徒も殆ど見受けられなくなった。</li> <li>進路者に関しては、5分前登校がギリギリの生徒が若干いるものの、全校的に早開校を取り組もうとする生徒の割合が非常に高い。</li> <li>学校生活を意欲的に送ることができない生徒は減ってきているものの、対人関係に悩み生徒が増えてきたと見受けられる。</li> <li>男女間のトラブルは殆どなく、互いに尊重し合う関係性をうまく保っている。</li> <li>ほとんどの生徒が持参しているが、しっかりと声に出すということに関しては、やはり個人差が見受けられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員による積極的な交際・廊下等での挨拶の徹底、外部からの来校者に対し、生徒からの自主的な挨拶の徹底。</li> <li>生徒通学用車において、生徒会主催による挨拶運動を行い、生徒間の挨拶の活性化及び徹底を図る。</li> <li>遅刻率を毎月発表することにより、教室遅刻率0.3%(40人学級で2人月)の目標値をクラス、学年毎に徹底させる。</li> <li>生徒に「得・休みの日」を定めて生徒会に報告、指導することにより、課外活動中の生徒のあり方もHRで徹底させる。</li> <li>クラブ活動の積極的加入と共に、継続的に活動させる。</li> <li>担任を始め、学年団、授業関係者が日頃の生徒の状況を観察し、気づいた時点で、教員間の情報の共有化を図る。</li> <li>通学路における要所においての交通安全指導。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>遅刻、欠席者の減少</li> <li>問題行動の減少</li> <li>活気のある学校生活</li> <li>頭髪服装等違反者の減少</li> <li>退学者の減少</li> <li>自転車通学違反者の根絶</li> <li>交通ルールの遵守</li> <li>課外活動の活性化</li> <li>通学路の環境整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>挨拶運動等が新型コロナウイルス感染症蔓延防止の観点から実施することはできなかった。</li> <li>女子生徒に関しては全体的に落ちついており、頭髪等で問題となる女子生徒は殆どいない。男子生徒に関しては長さ・カットの仕方等より細かい部分での指導を要したが、大きな問題とまでならなかった。</li> <li>警察、鑑識警察課、非行防止おおぞら等による交通安全指導、乗物利用禁止講習等は新型コロナウイルス感染症蔓延防止の観点から実施することは出来なかった。</li> <li>自転車マナーアップの推進校としての意識も高まりつつあり、登校時による指導対象者もほとんどいない。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>担任・学年主任、学年団のみならず、全職員による生徒指導の徹底及び情報共有の連携を図る。</li> <li>8時25分(始発5分前) 登校の徹底。</li> <li>登下校時、校舎内ならびに来校者に対する更なる挨拶の徹底を図る。</li> <li>遅刻、欠席者の状況把握と共に早期指導に重点を置き、欠席過多や転学者の防止、防止に努める。</li> <li>友人関係の変化にも着目しながらの各学期ごとの二者面談。6月、11月に行ういじめ防止アンケートの実施により、いじめの未然防止に積極的に取り組む。</li> <li>学校行事、課外活動への参加を促し、活気ある学対価とする。</li> <li>スクールカウンセラーの活用及び連携により精神的なケアにも積極的な力を入れていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>厳しい緊急事態宣言の最中、登校させたい親、家庭の事情で登校させられないと思っでいる親等がいる中で、登校の遅刻がなかったのは親としてもありがたかった。</li> <li>遅刻指導などをしっかりとしていただいていたので、家庭としては助かっています。評価はAでよいのではないでしょうか。</li> </ul>	
4 教科指導 教科指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>日々の授業や定期試験に向けた勉強に意欲的に取り組む生徒が年々増えてきている。しかし、平素の家庭学習の習慣が定着してない生徒が多いため、試験前日の学習が一過性のものとなってしまう、知識の定着がつかないという生徒が見られる。</li> <li>模範試験に対する意識も高まり、意欲的に取り組む生徒が増えてきている。しかし、模範試験の結果のみを注目し、復習の重要性を認識できていない生徒が見られる。</li> <li>大学受験において優先度の高い英語の学習状況を図る(英語検定)の準2級以上取得者が少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎朝のHRでの小テストを徹底して行うと同時に、定期試験1ヶ月前～2週間前には「復習テスト」を実施することで、学習内容の復習と家庭学習の習慣化を図る。</li> <li>模範試験の復習を各教科・科目の課題とし、平常点に組み込むことにより生徒がより意欲的に模範試験の復習に取り組むことを促す。</li> <li>河合塾で採用されている学習アプリ「Monex(モノグサ)」を活用し、単語力・リスニング力の向上を図る。</li> <li>DM英会話の積極的な活用により、真の中英習得の形成を促し、「読む」「書く」「聞く」「話す」すべての処理能力の向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種模範試験の途中経過(前年比・前回比)を定評する</li> <li>各種検定試験の受験者数と合格者数</li> <li>最終的な大学合格実績</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>R2大学合格実績 【国公立早慶上理レベル】: 26名 【GMARCHレベル】: 45名 【成成麗国レベル】: 77名 【日東駒専レベル】: 135名 【大東亜帝国レベル】: 130名</li> <li>英検2級合格者は増加してきたが、生徒在籍数に対しては少ない。</li> <li>「復習テスト」や模範試験の復習は、各教科の先生方の協力により実施することができた。また、成績上位者を掲示することで意欲の喚起を促した。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校内での自習環境や制度を確立し、充実させる。また、3年生特選コースに対しては、休日・休暇中の自習室開放を実施し、生徒の学習時間を増加を促す。</li> <li>毎朝のHRの小テストの質や量を見直し、生徒の学力に見合った適切なレベルのものを検出し、実施する。</li> <li>模範試験の復習に対する意欲を高めるために、定期試験での出題等により、その内容の定着度を高める。</li> <li>スタディサプリやモバサテをより活用し、難関国公立・私立大学入試に対応できる学力の定着を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教員の授業力向上について、どのような形でやっているのかを教えてください。</li> <li>英検等の合格者に対しての小松原学園育成振興会からの表彰があることを、保護者や生徒全体にもっと周知していただけたらいい。</li> <li>試験最終日等の検定ではなく、もう少し余裕を持った日程にしていただけたらいい。</li> </ul>	
5 広報 広報活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>入学者数 417名 (男203名 女214名) 117% 特選Ⅰ類 76名 (男32名 女44名) 27% 特選Ⅱ類 41名 (男24名 女17名) 17% 特選Ⅲ類 80名 (男43名 女37名) 27% 特進Ⅰ類 101名 (男37名 女64名) 37% 特進Ⅱ類 120名 (男68名 女52名) 37% 単願 282名 併願 155名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>上位層獲得の為に方策</li> <li>男子学生獲得のため、掲載記事の工夫、部活動体験開催</li> <li>説明会・個別相談会: 北東結果返却時の終日実施</li> <li>オープンスクール: 8月2日実施</li> <li>地域感謝祭開催: 17:00～20:00実施</li> <li>上位層獲得が見込まれる京浜東北線浦和駅・大宮、高崎線強化</li> <li>徹底した塾訪問強化</li> <li>相談者の多い地区に担当者を増やし、中学受験時期期間短縮同日、早めに対応実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>入学者数と単願・併願の数 単願200 併願140</li> <li>京浜東北線浦和・高崎線沿線の入学者数増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>入学者数 421名 (男177名 女244名) 117% 特選Ⅰ類 69名 (男28名 女41名) 27% 特選Ⅱ類 77名 (男25名 女52名) 27% 特選Ⅲ類 76名 (男38名 女38名) 27% 特進Ⅰ類 119名 (男54名 女65名) 37% 特進Ⅱ類 80名 (男32名 女48名) 27% 単願 256名 併願 165名</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>上位コース入学者を増やし、入学者350名ほどに抑える</li> <li>重点地域の広報活動を強化</li> <li>進学に向けた効果的な取り組みを大きく宣伝(上位層進学者への効果的広報活動)</li> <li>新しい学対価紹介TR作成</li> <li>オープンキャンパスを8月・2回実施し、中学生の行動するサインを逃さない</li> <li>特選Ⅱ類の募集停止による影響を最小限に抑える</li> <li>朝霞・新座・東所沢・新秋津方面の上位層獲得のための開拓を実施する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>制限が上品で、受験生の親からも評判が良いと思います。</li> </ul>	